事業所名:　ハピネス　五戸

作成日:　平成　26年　11月　19日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	○一人ひとりの人権の尊重とプライバシーの確保 ・トイレの扉の開閉の大変さからカーテンでの目隠し対応しているが、隙間から見える等充分なプライバシー保護とは言えないのではないか。入居者は不安や不快感を感じていないか。 ・生年月日の一覧掲示は職員の周知が目的と思われ、個人情報を知られたくない方もいるのではないか。入居者・職員共に馴染みの関係が慣れ合いの関係になってしまい、プライバシーや個人の要望を見逃している現状がある。	・「親しき仲にも礼儀あり」 慣れ合いになっているプライバシー保護について考える機会を持つ。	・排泄ケアについて考える。 ①トイレのカーテンの使用について、プライバシー保護が出来ているかグループホーム会議での議案にあげ検討する。 ②入居者個別の声掛けや、対応方法を作成し、職員の統一を図る。 ③①、②について定期的に見直していく。	①②4か月 ③12か月
					か月
					か月
					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。